

斉藤信事務所開きでのあいさつ大要（2023年7月31日）

猛暑が続く中、斉藤信事務所開きにご参加をいただき本当にありがとうございます。

明日から盛岡の夏祭り・さんさ踊りパレードが始まります。その直後の8月6日からは県都盛岡の市議選が告示されます。定数38に50人の立候補が予定される大激戦です。先ほど紹介された5人の市議候補の全員当選を勝ち取るために私も全力を挙げて頑張ります。どうぞよろしく願いいたします。

全国が注目する全国的意義持つ県知事選挙

17日に告示される県知事選挙は、全国が注目する、全国的な意義を持つ選挙です。岸田自公政権の悪政の下で、全国に誇る実績を上げてきた達増県政の継続発展を勝ち取ることは、県民の命とくらしを守るうえでも、自公政権の悪政を変えていく新たな共同を広げていくうえでも重要な意義を持つものです。全国革新懇、全労連、全商連、全国国民医連などが達増知事の推薦、全国支援を決め、昨日は「明るい県政をつくる会」の宣伝行動にも駆けつけていただきました。全商連は独自に宣伝カーで県内遊説を行っています。

県知事選挙を勝ち抜く力は、達増県政の全国に誇る素晴らしい実績を多くの県民に広げることです。「明るい民主県政をつくる会」のチラシはその決定的な力となるものです。

全国に誇る達増県政の素晴らしい実績を県民に広げよう

戦後最大の大災害となった東日本大震災津波からの復興で、達増知事は「被災者一人一人の幸福追求権を保障する」ことを復興の理念として、最も切実な「被災者の医療費免除」を11年間継続実施しました。

人口減少・少子化の課題は国政にとっても地方政治にとっても最も切実な課題となっています。達増県政は今年度の4月から、第2子以降の保育料の無料化と在宅育児への月1万円の支給を実施しています。これをセットで取り組んでいるのは全国で岩手県だけの取り組みであります。市町村と共同して取り組んでいますので、全市町村が全国トップクラスの子育て支援に取り組むことになっています。達増知事は「一層の拡充」を公約で提起しましたので、保育料の完全無償化へさらに前進させたいと思っています。子どもの医療費助成では、明日8月から高校生までの現物給付化、病院の窓口無料化が実施されます。これは全国6番目の取り組みとなります。

今暮らしにとって最も切実な物価高騰対策では、昨年度も、今年度も全国に先駆けて物価高騰対策を打ち出しました。昨年度は、子育て支援を重視し、子ども一人当たり市町村と共同で3万円の支給を2度実施しました。県の事業費だけで44億円、市町村の分を含

めると 80 億円規模の支援を行いました。今年は L P ガス高騰分の支援を新たに行っています。医療機関・介護施設等への支援、農家、中小企業等への支援を行っています。

新型コロナ対策では、全国で医師が一番少ない岩手で、全国一の県立病院のネットワークで対応し、入院患者の 7 割を受け入れました。私たちが強く求めた無料の PCR 検査、高齢者施設での定期的検査も実現しました。

こうした全国誇る素晴らしい実績は、日本共産党県議団の建設的な提言と県民の運動にこたえたものであります。

気候危機打開の課題では、連日猛暑が続いています。国連のグテーレス事務総長は、「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰化の時代が来た」と警告し、「温室効果ガス排出量の 8 割を占める G7 の責任は重大だ。再生可能エネルギーへの転換と化石燃料からの脱却が必要だ」と発言しました。達増県政は 2013 年比で 57%の温室効果ガス排出量削減の積極的な目標を掲げていることも重要です。

自民党丸抱えの前県議の実像－県民の願いに背を向ける

明るい民主県政をつくる会のチラシで反響を呼んでいるのは、2 面の自民党丸抱えの前県議の実態を事実に基づいてお知らせしていることです。県民所得の向上を公約に掲げていますが、最も切実な「最低賃金の引き上げ」を求める請願・意見書に反対してきました。自民党も賛成した「私学助成の充実求める」請願・意見書にも反対しました。県民の願いに背を向ける冷たい政治家に県政をゆだねるわけにはいかないのではないのでしょうか。

県民の願いで達増県政を前に進める－ダントツの発言回数

皆さん、日本共産党県議団は、全国に誇る達増県政を、県民の願いで前に進める推進力の役割を果たしてきました。重要な課題で絶えず達増知事に建設的な提案・申し入れを行い、県議会のあらゆる場で取り上げてきました。私の県議ビラで反響を呼んでいるのが、2 面の盛岡選挙区 10 人の県議の発言回数のグラフです。この 4 年間、本会議、予算・決算特別委員会だけのですが、私は 1418 回、第 2 位が 468 回ですからその 3 倍以上です。たったの 46 回という自民党の県議もいました。これだけ、県民の切実な実態と要求を調査し、県政に届けてきました。

4 年前の県議選では、投票日 2 日前にトップグループと書かれたものの 10 番目の当選でした。選挙の厳しさを痛感した選挙でした。今回は、達増県政の推進力として日本共産党 3 人の県議の議席確保、この盛岡で必ず勝利する決意です。皆さんのこれまで以上のご支援を心からお願いして、私の決意表明といたします。どうぞよろしく願いいたします。